

ヤマハ株式会社
2018年3月期
第3四半期決算説明会

2018年 2月 6日



決算概要

- 前年同期比では、売上高は為替影響+142億円もあり204億円の増収。
営業利益は、為替影響+26億円もあり、41億円の増益。
すべての事業セグメントで増収増益。
 - ◆ 楽器事業は、先進国市場で回復基調、中国市場は二桁成長継続、その他地域も好調継続。
 - ◆ 音響機器事業は、AV機器、PA機器の伸びは期待値に届いていないものの、全地域で前年を上回る。
 - ◆ その他の事業は、FA機器が好調に推移。

- 前回予想比では、売上高は、為替影響もあり+12億円の増収。
営業利益は、投資有価証券売却益に関わる外形標準課税の増加等により、想定を若干下回り、▲5億円の減益。

- 当期利益は、ヤマハ発動機(株)株式の一部売却益の計上により、前年同期、前回予想（2017年11月1日）から大幅に増益。

2018/3期 3Q累計業績概要



(億円)

	17/3	18/3	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	3,083	3,287	+6.6%	3,275	+0.4%
営業利益 (営業利益率)	374 (12.1%)	415 (12.6%)	+11.0%	420 (12.8%)	▲1.3%
経常利益 (経常利益率)	376 (12.2%)	416 (12.7%)	+10.7%	415 (12.7%)	+0.3%
当期利益※ (当期利益率)	371 (12.0%)	496 (15.1%)	+33.7%	325 (9.9%)	+52.5%

為替レート (円)

売上高 (期中平均)	US\$	107	112	111
	EUR	118	129	126
利益 (決済レート)	US\$	107	112	111
	EUR	121	124	124

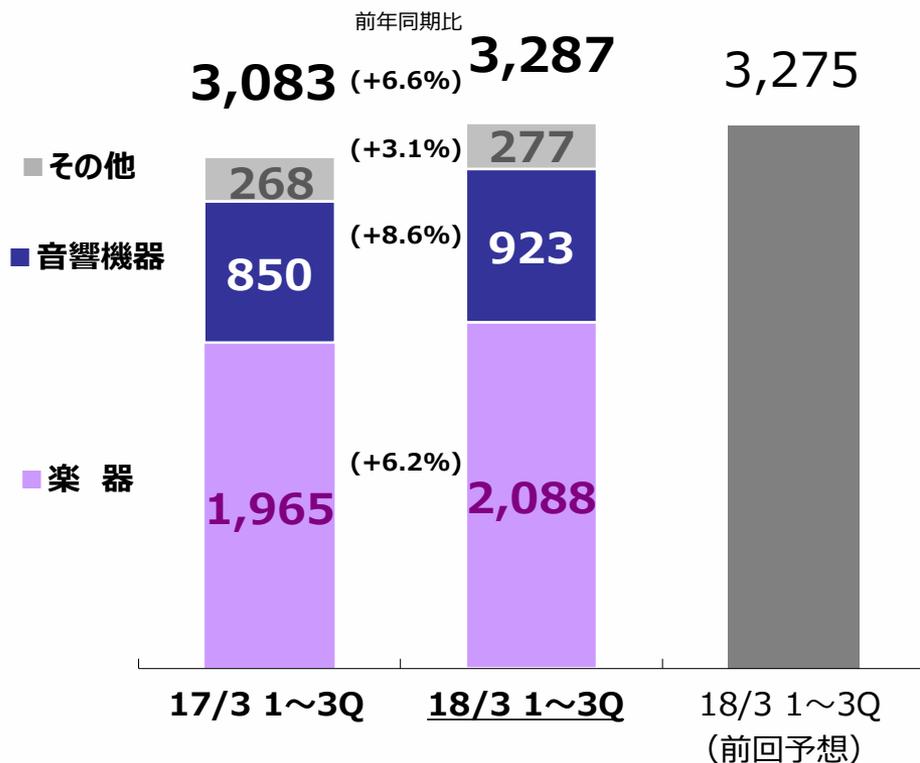
※連結財務諸表上は「親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益」

●前回予想は2017/11/1 発表数値

2018/3期 3Q累計事業別業績



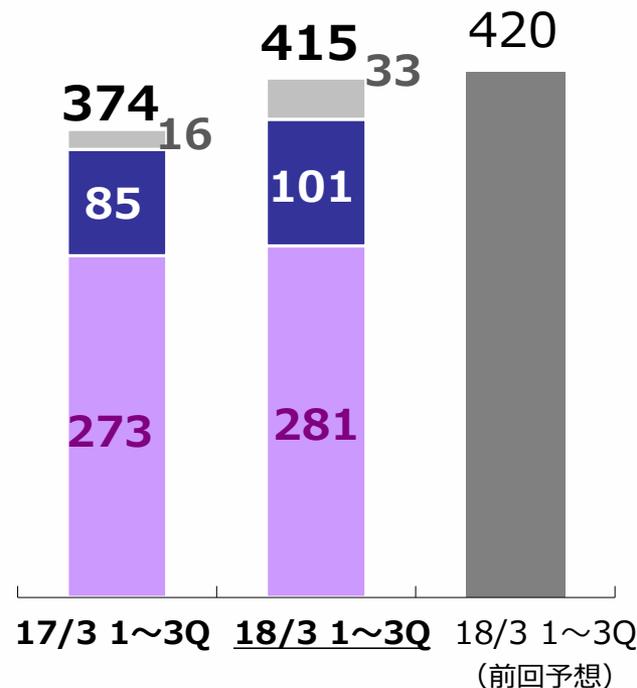
売上高



為替影響額 (億円)			
前期比較	+142	楽器	+93
		音響機器	+47
		その他	+2
前回予想比較	+38	楽器	+25
		音響機器	+12

営業利益

(億円)



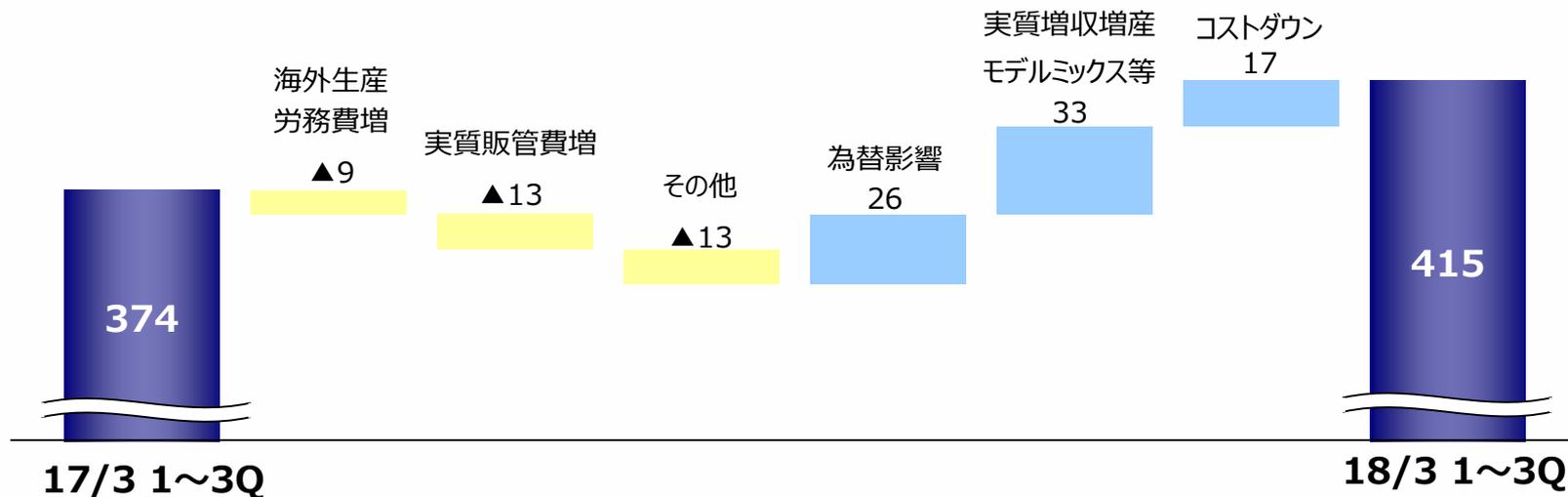
為替影響額 (億円)			
前期比較	+26	楽器	+18
		音響機器	+8
前回予想比較	0	楽器	+1
		音響機器	▲1

● 前回予想は2017/11/1 発表数値

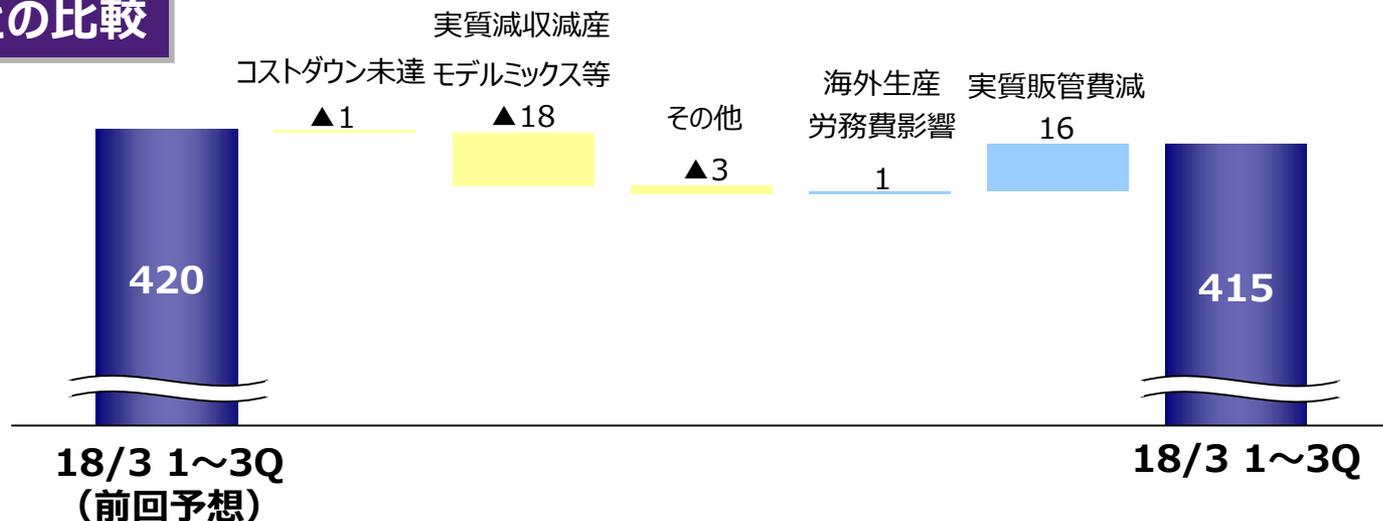
2018/3期 3Q累計営業利益増減要因

前期との比較

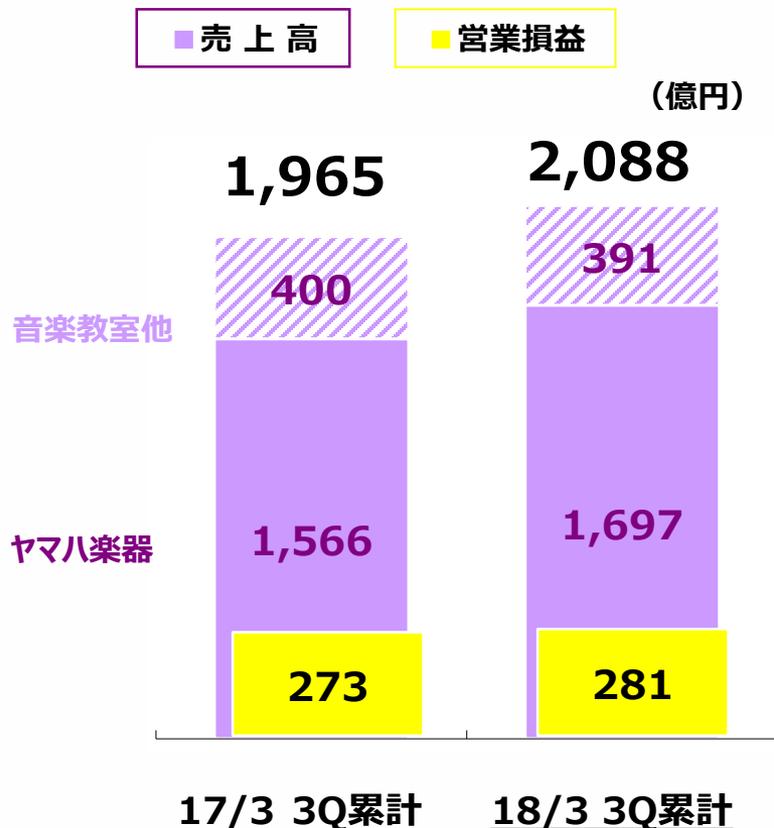
(億円)



前回予想との比較



3Q累計



3Q累計の状況

対前年同期増収増益。

<商品別>

- ・3Qで対前年同期104%、累計でもほぼ全ての商品カテゴリーで前年を上回る。
- ・特に電子ピアノ、ギターが全体を牽引。

<地域別>

- ・3Qは北米で対前年同期104%、欧州同102%と回復基調も、3Q累計では共に前年未達。
- ・中国市場は、ピアノに加えて電子ピアノ、ギターが大きく伸張し、二桁成長継続。
- ・その他地域は、中東・インド・ロシアを中心に好調継続。

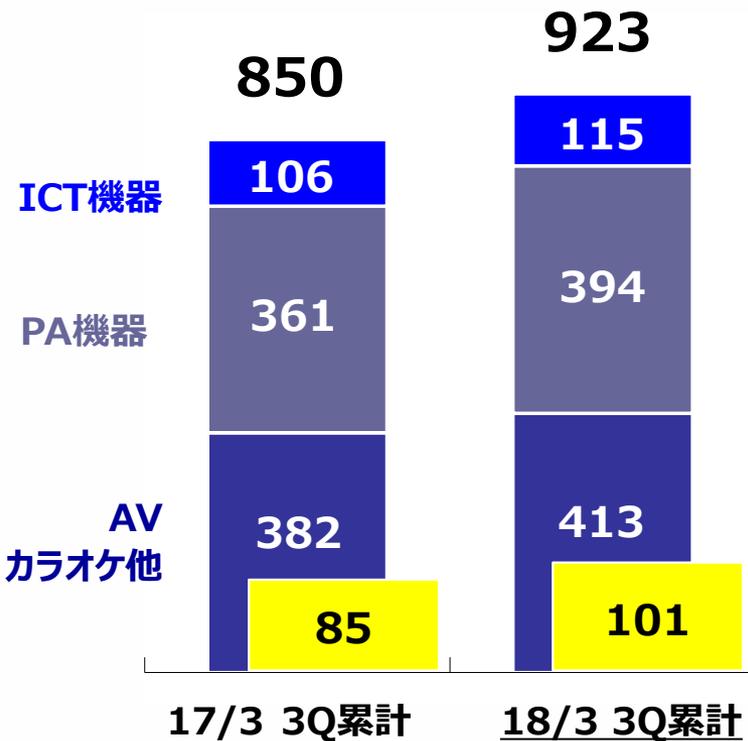
音響機器事業 3Q累計の状況

3Q累計

■ ■ ■
売上高

■ 営業損益

(億円)



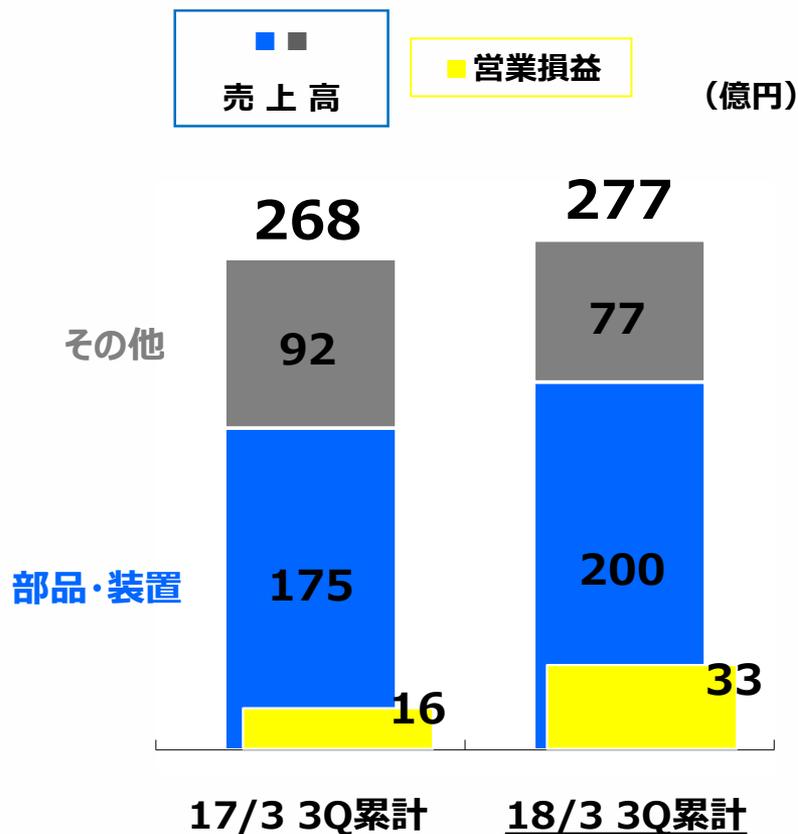
3Q累計の状況

対前年同期増収増益。

- ・AV機器は、サウンドバー、ネットワーク・オーディオを中心に堅調も、一部4Qへのずれ込みがあり対前年同期103%。
- ・PA機器は、中国市場、その他地域で好調継続、北米市場も回復基調となり、対前年同期103%。
- ・ICT機器は、音声コミュニケーション機器が堅調継続。

その他の事業 3Q累計の状況

3Q累計



3Q累計の状況

対前年同期増収増益。

- ・部品・装置は、FA機器の好調が寄与し、対前年同期二桁成長継続。
- ・ゴルフも新商品効果で好調継続。

(前期売上は営業譲渡したリゾート営業収入19億円含む。)

* 部品・装置売上は電子部品 自動車用内装部品 FA機器等の合計額です

4Qの見通し

- ◆ 楽器事業は、欧米市場の回復継続、中国市場、その他地域的好調継続を見込む。
- ◆ 音響機器事業は、音響設備工事の来期への後ろ倒しの影響あるも、製品売上の伸長を想定。
- ◆ その他の事業は、電子デバイスの一部来期への後ろ倒しがあり若干の減速。
- ◆ 為替前提は、USD 110円から105円、ユーロ 125円から130円に変更。

通期の業績見込み

- 売上高、営業利益、経常利益は前回予想（2017年11月1日）を据え置き、当期利益は11月28日の業績予想修正時から変更なし。

2018/3期 通期業績予想



(億円)

	17/3	18/3予想	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	4,082	4,320	+5.8%	4,320	-
営業利益 (営業利益率)	443 (10.9%)	500 (11.6%)	+12.9%	500 (11.6%)	-
経常利益 (経常利益率)	449 (11.0%)	500 (11.6%)	+11.3%	500 (11.6%)	-
当期利益※ (当期利益率)	467 (11.4%)	570 (13.2%)	+22.0%	390 (9.0%)	+46.2%

為替レート (円)

売上高 (期中平均)	US\$	108	110	111
	EUR	119	129	126
利益 (決済レート)	US\$	108	110	111
	EUR	121	126	126

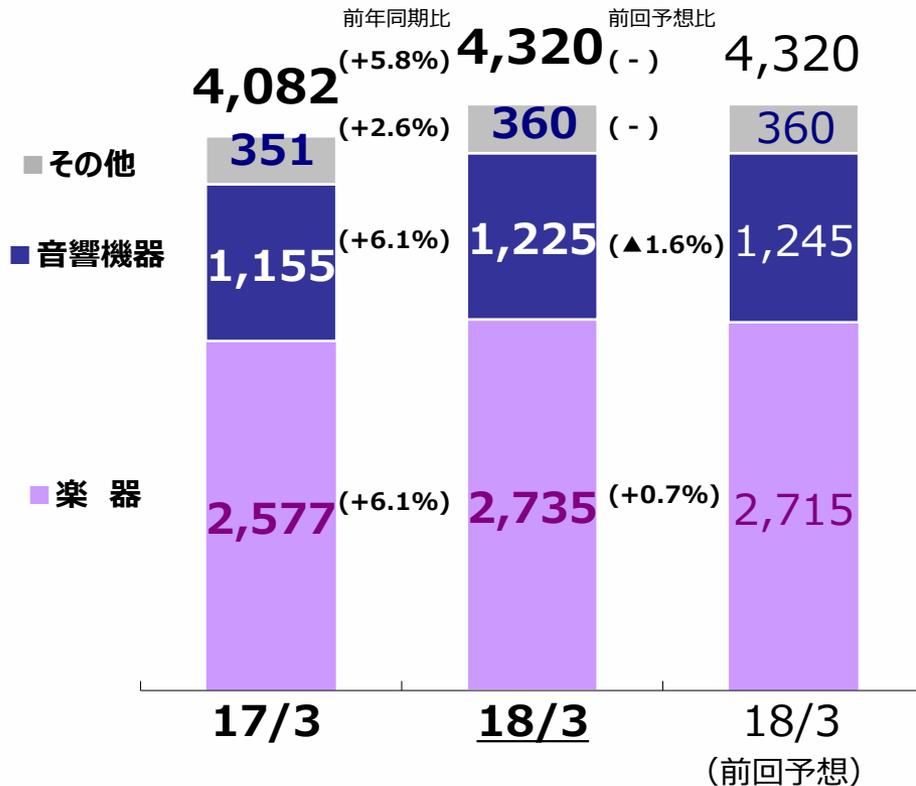
※連結財務諸表上は「親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益」

●前回予想は2017/11/1 発表数値

2018/3期 通期事業別業績予想



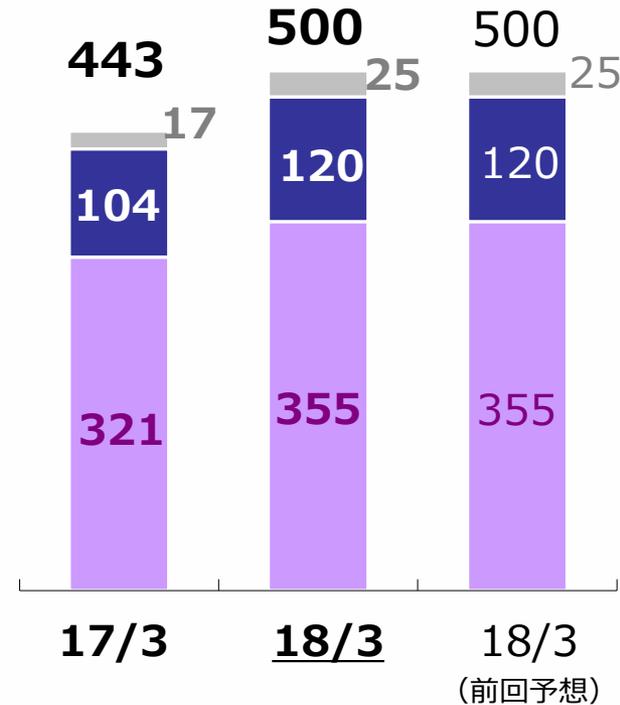
売上高



為替影響額 (億円)			
前期比較	+135	楽器	+89
		音響機器	+45
		その他	+2
前回予想比較	+39	楽器	+26
		音響機器	+12

営業利益

(億円)



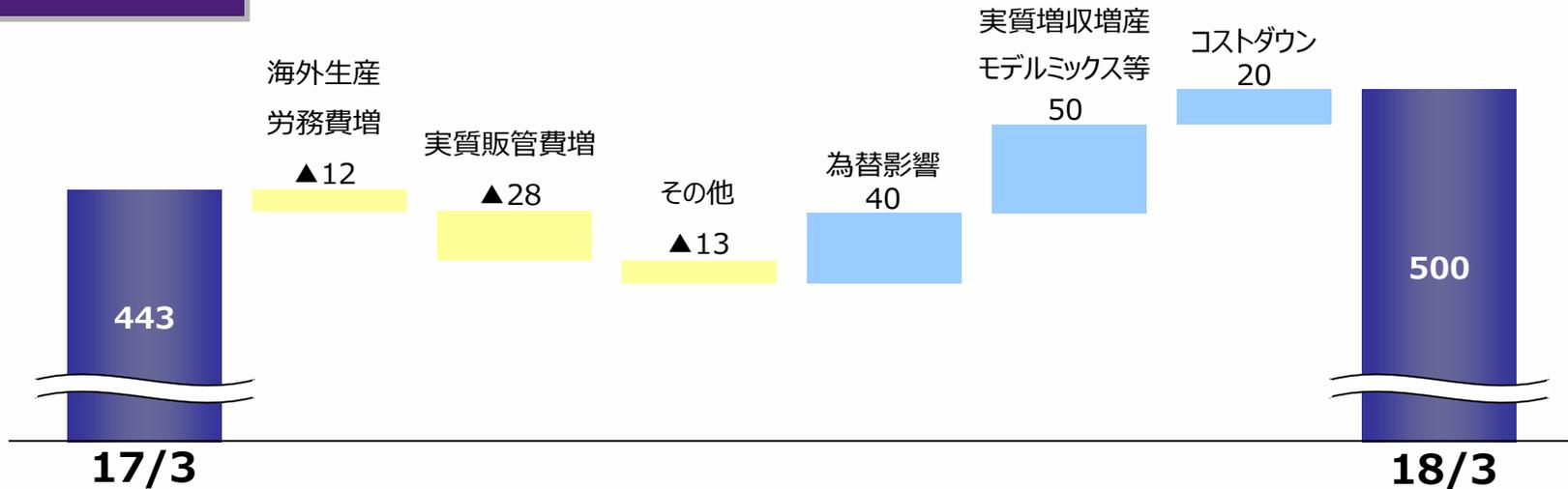
為替影響額 (億円)			
前期比較	+40	楽器	+27
		音響機器	+13
前回予想比較	+10	楽器	+8
		音響機器	+2

● 前回予想は2017/11/1 発表数値

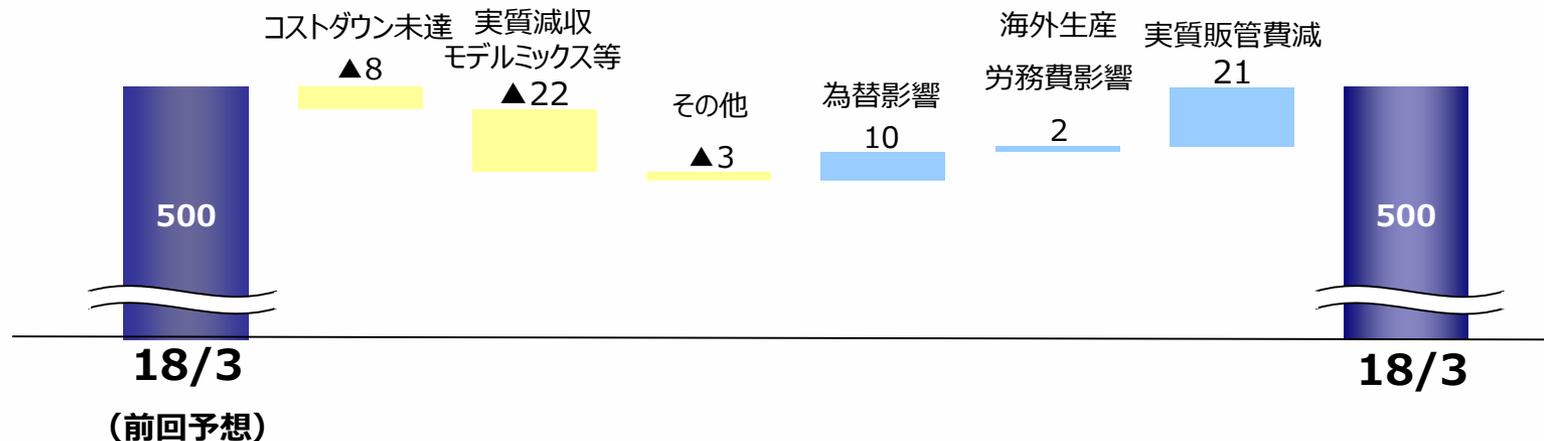
2018/3期 通期営業利益予想増減要因

前期との比較

(億円)



前回予想との比較



● 前回予想は2017/11/1 発表数値

通期

■ 売上高

■ 営業損益

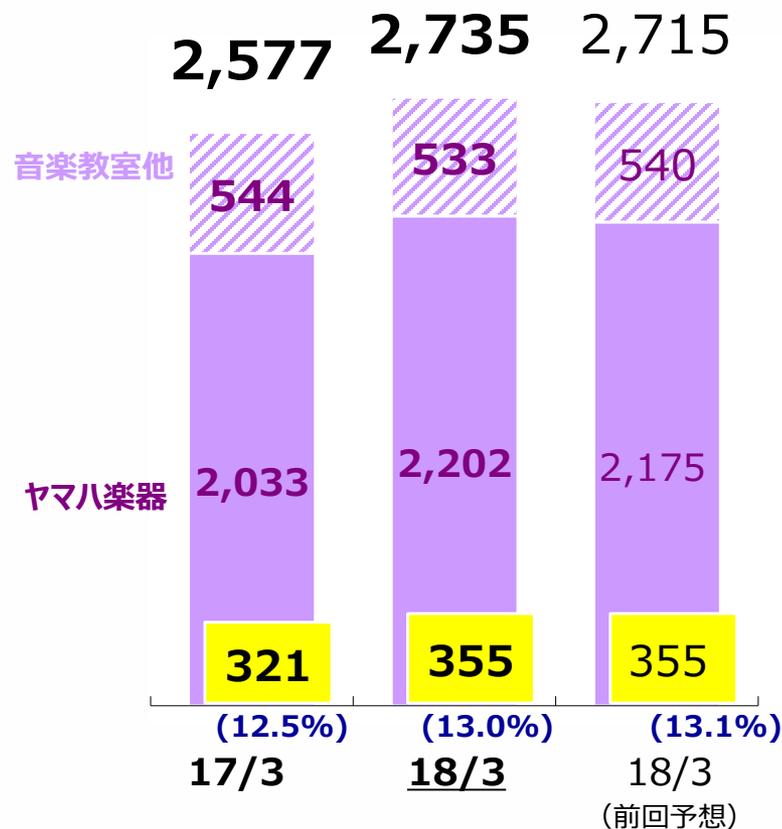
(億円)

通期予想

対前年増収増益。

・売上は、中国市場、その他地域の好調継続、及び為替影響により前回予想から+20億円増収を見込む。

・営業利益は、調達コストの上昇もあり、前回予想を据置く。



* ()内は営業利益率

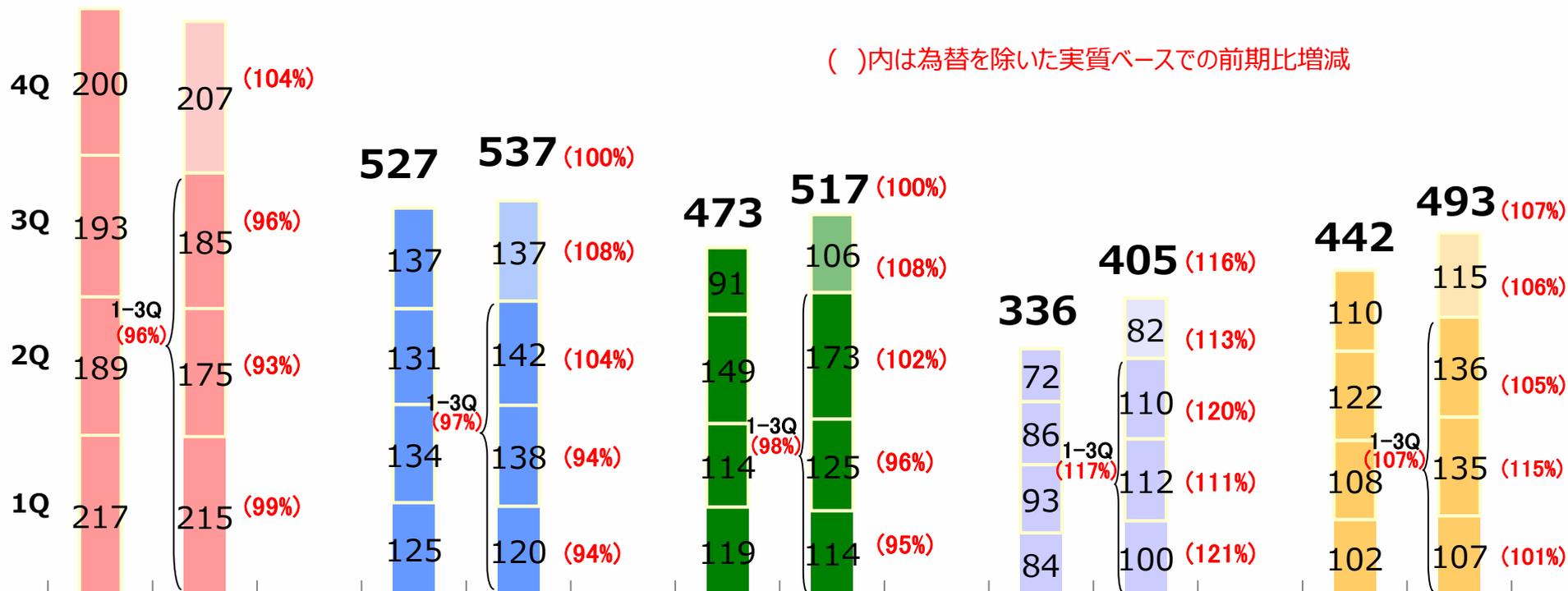
楽器事業 (地域別の販売予想) (ソフト、音楽教室等を含む)



全市場計 通期売上高 2,735億円 (103%)

(億円)

798 783 (98%)



17/3 18/3

17/3 18/3

17/3 18/3

17/3 18/3

17/3 18/3

日本

北米

欧州

中国

その他

音響機器事業 (予想)

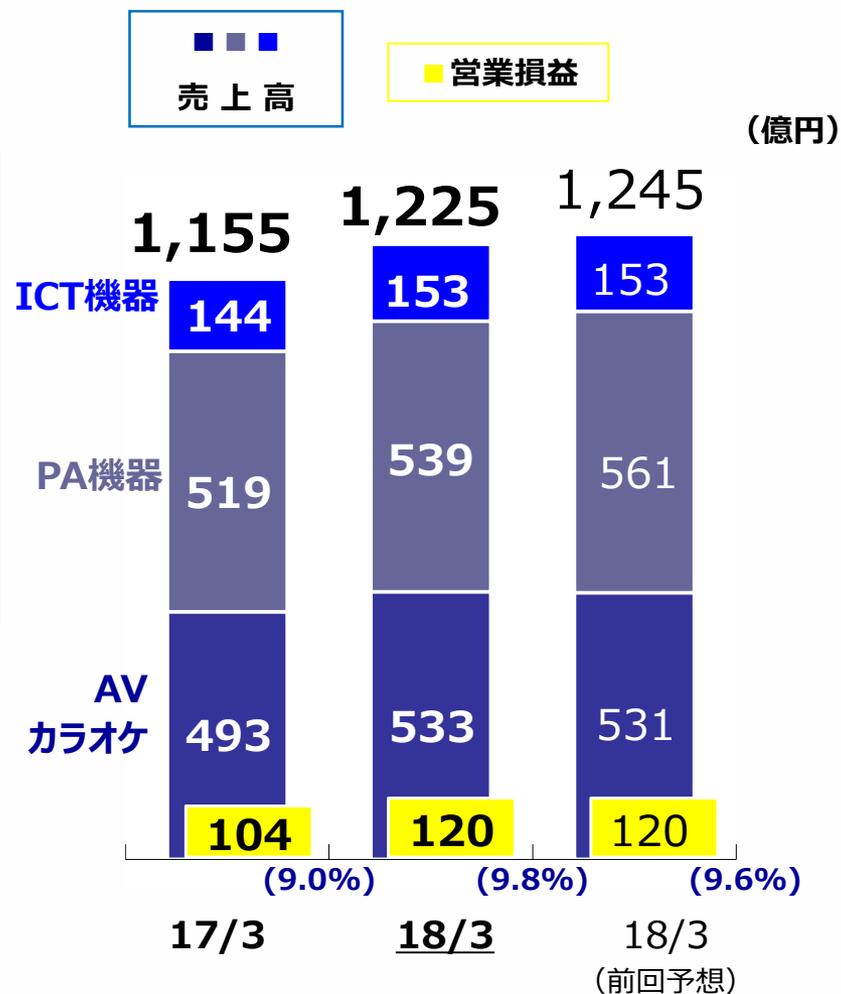
通期

通期予想

対前年増収増益、前回予想からは減収。

- ・売上は、音響設備工事の来期への後ろ倒しがあり、前回予想から20億円の減収を見込む。

- ・営業利益は、前回予想を据置く。



*()内は営業利益率

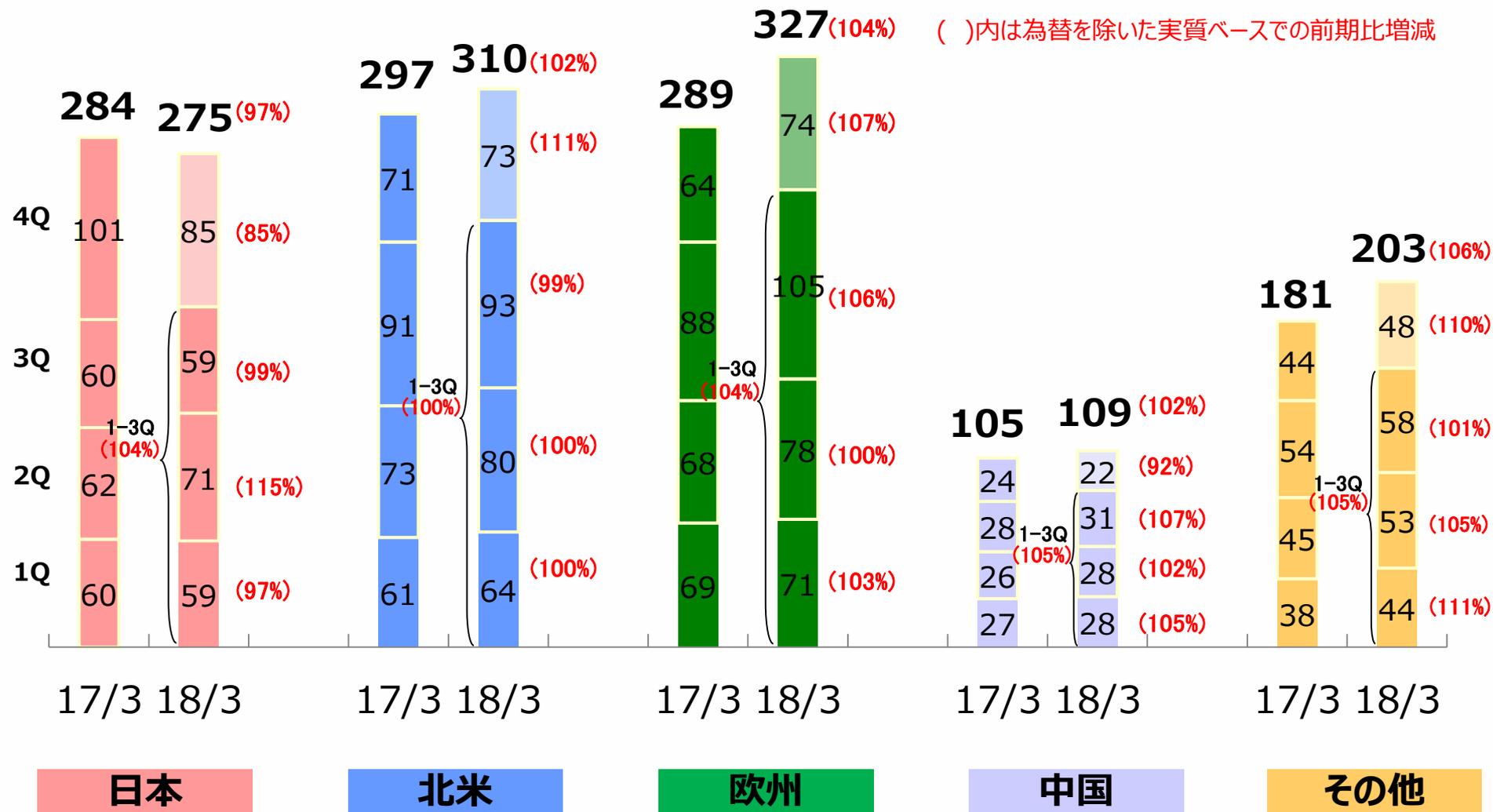
音響機器事業（地域別の販売予想）



全市場計 通期売上高 1,225億円 (102%)

(億円)

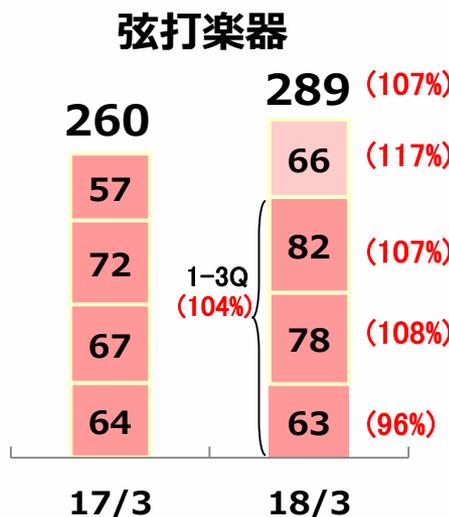
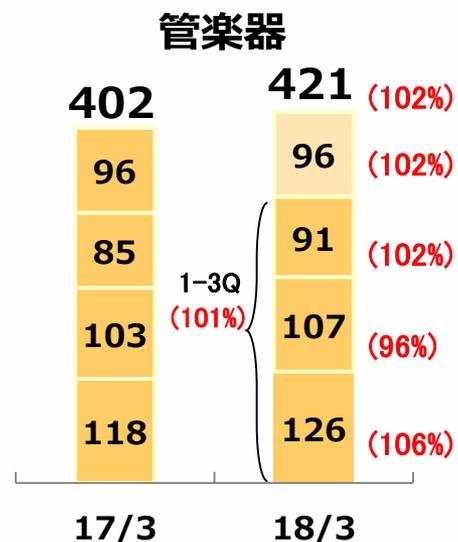
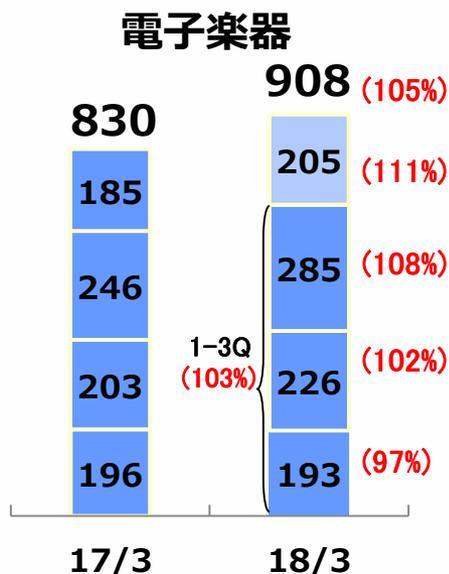
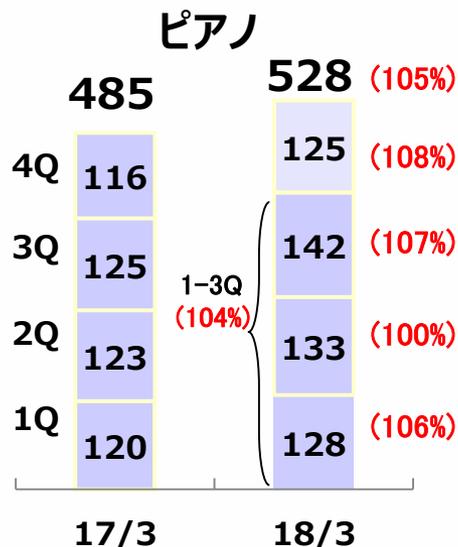
()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減



楽器・音響機器事業（主要商品別販売予想）

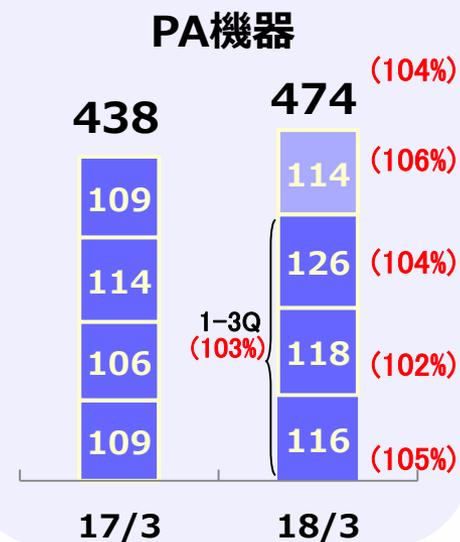
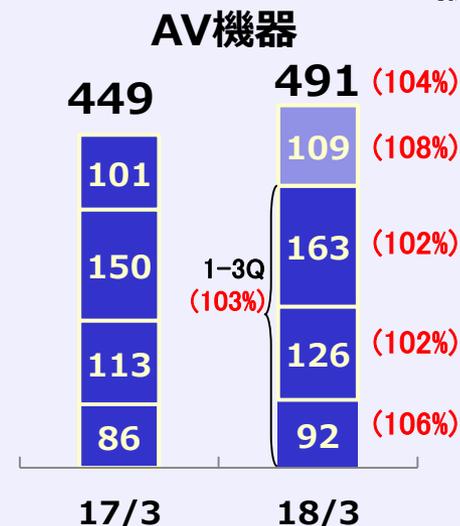


楽器事業



音響機器事業

(億円)



※PA機器はハード売上のみ（設備工事を除く）

()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

その他の事業 (予想)

通期

■ ■
売上高

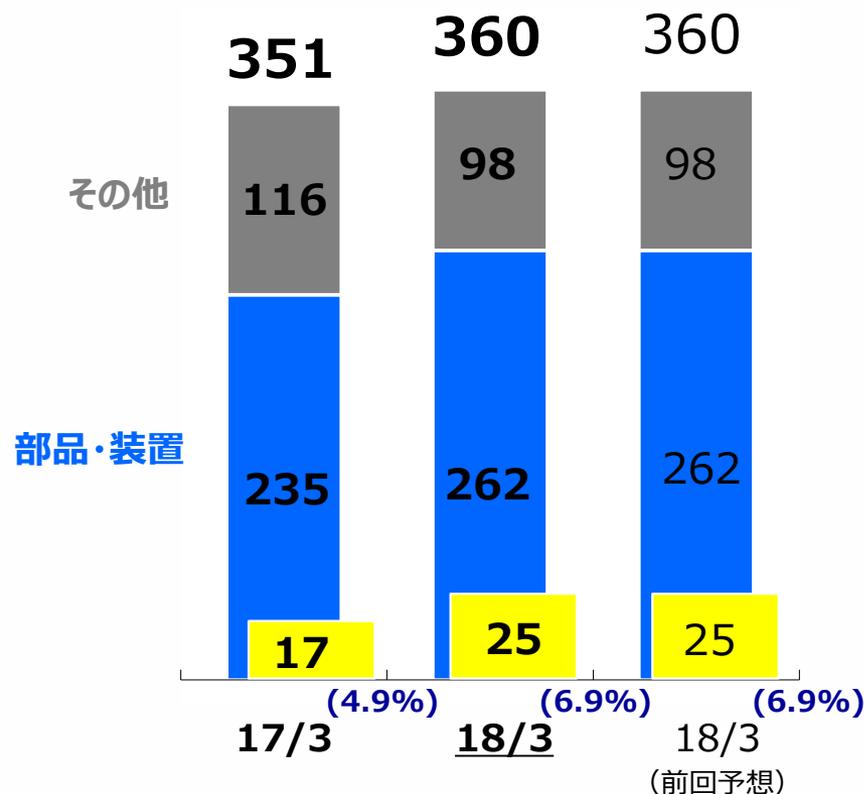
■ 営業損益

(億円)

通期予想

対前年増収増益、前回予想から変更なし。

- ・部品装置は、電子デバイスの来期への後ろ倒しあるも、スマートフォン向け検査機等FA機器が好調に推移し、対前年二桁成長の見込み。

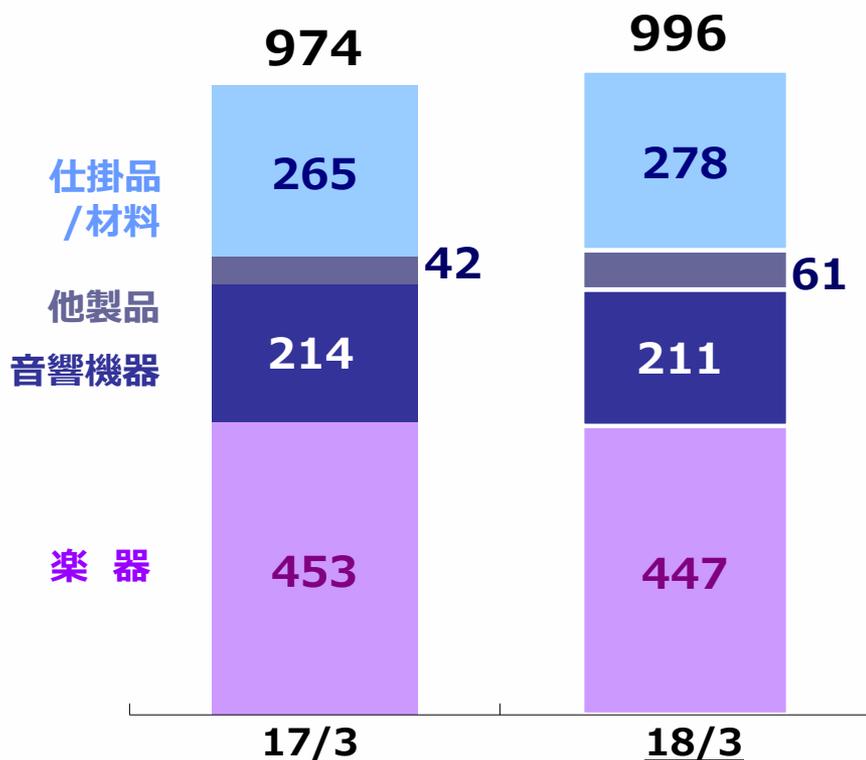


* ()内は営業利益率

* 部品・装置売上は電子部品 自動車用内装部品 FA機器等の合計額です

棚卸資産

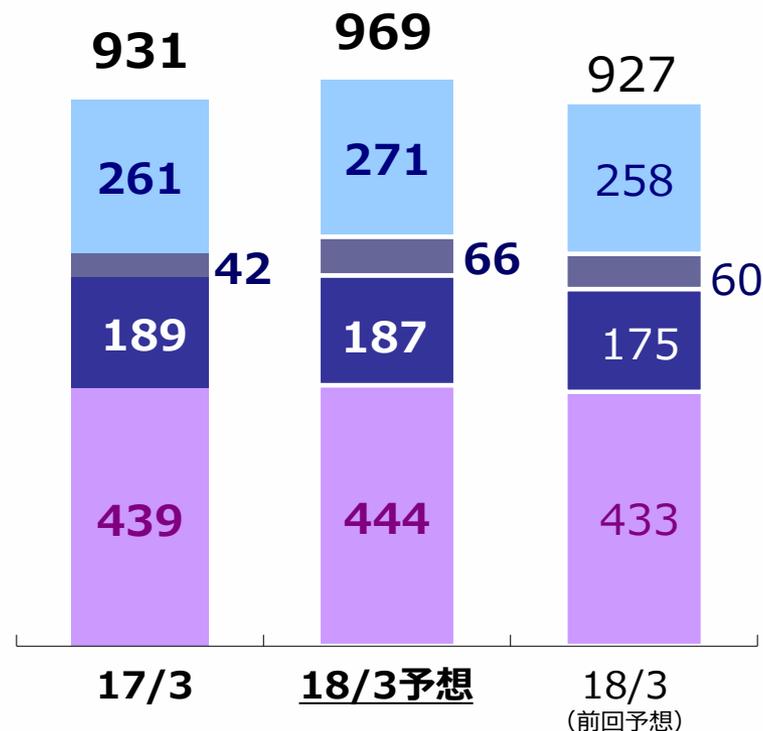
3 Q 末



為替影響額 (億円)	
前期比較	+18

期 末

(億円)



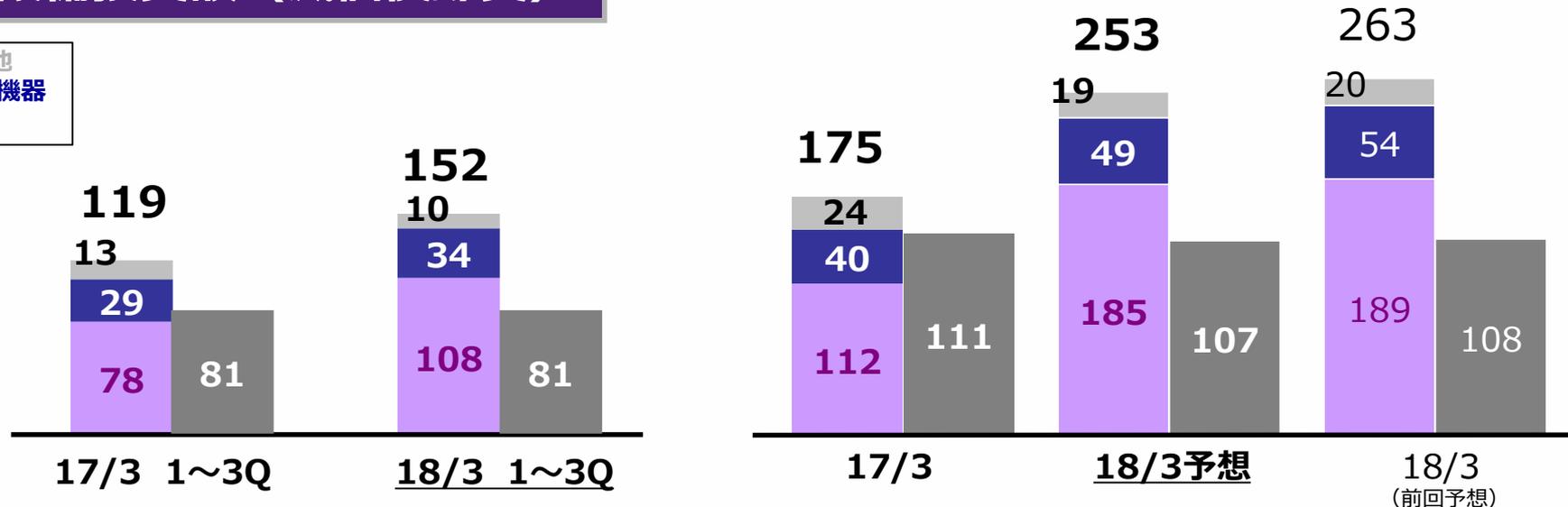
為替影響額 (億円)	
前期比較	+3
前回予想比較	+3

設備投資額・減価償却費/研究開発費

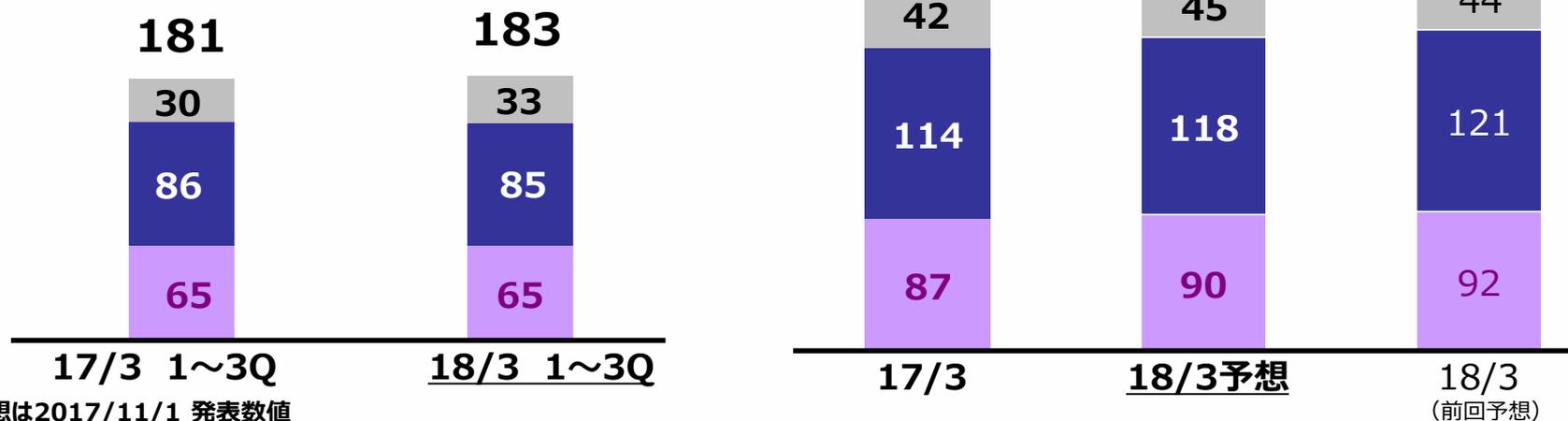
設備投資額 (減価償却費)

(億円)

- その他
- 音響機器
- 楽器



研究開発費



● 前回予想は2017/11/1 発表数値

貸借対照表

(億円)

	3Q末			期末予想		
	16/12末	17/12末	増減	17/3末	18/3末	増減
現預金	977	1,387	410	1,059	1,207	148
売上債権	625	670	45	498	530	32
棚卸資産	974	996	22	931	969	38
他流動資産	231	295	64	239	284	45
固定資産	2,472	2,749	277	2,497	2,827	330
資産計	5,279	6,097	818	5,224	5,817	593
仕入債務	166	182	16	178	186	8
借入金	245	259	14	112	105	▲7
他負債	1,318	1,445	127	1,260	1,460	200
純資産計	3,550	4,211	661	3,674	4,066	392
負債純資産計	5,279	6,097	818	5,224	5,817	593

➤ 自己株式取得

【理由】	株主還元と資本効率の向上を図るため
【取得株式の種類】	当社普通株式
【取得総数】	700万株（上限）
【取得総額】	250億円（上限）
【取得期間】	平成29年12月1日～平成30年5月31日
【取得方法】	東京証券取引所における市場買付

➤ 2018年3月期の年間配当は56円を予定

	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3 (予想)
1株あたりの 年間配当	10円	27円	36円	44円	52円	56円
配当性向	47.0%	22.8%	28.0%	26.1%	20.9%	18.3%
総還元性向	47.0%	22.8%	28.0%	78.8%	26.8%	62.2%

付属資料

2018/3期 3Q業績概要



(億円)

	17/3	18/3	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	1,092	1,189	+9.0%	1,177	+1.0%
営業利益 (営業利益率)	127 (11.6%)	175 (14.8%)	+38.0%	181 (15.4%)	▲3.1%
経常利益 (経常利益率)	131 (12.0%)	169 (14.2%)	+28.9%	168 (14.3%)	+0.5%
当期利益※ (当期利益率)	98 (9.0%)	299 (25.2%)	+204.0%	129 (11.0%)	+131.9%

為替レート (円)

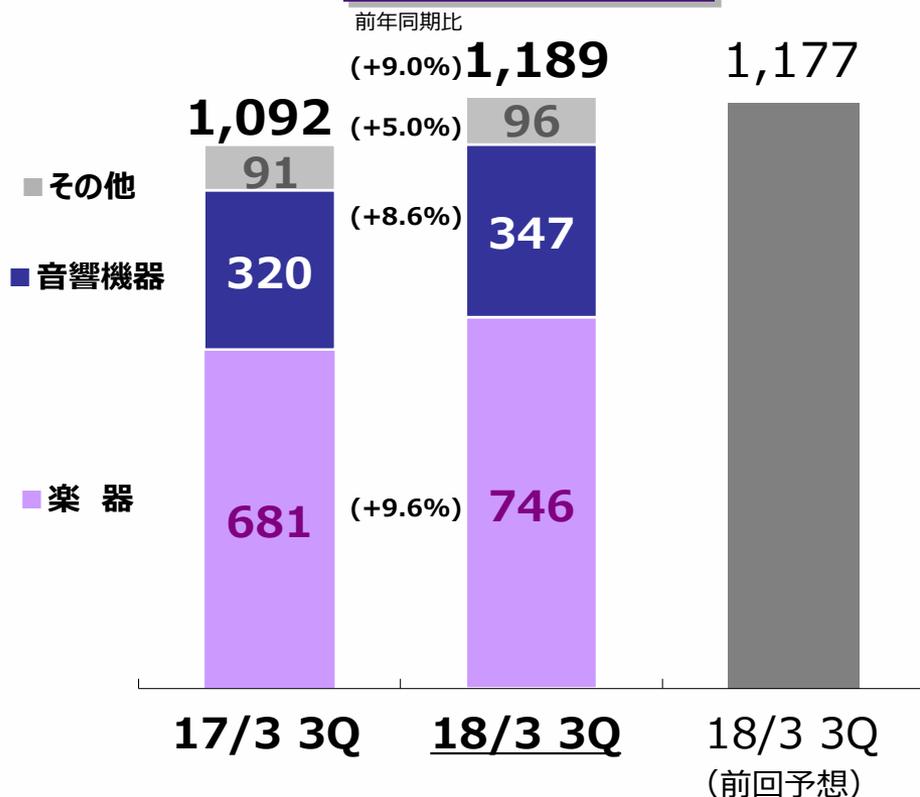
売上高 (期中平均)	US\$	109	113	110
	EUR	118	133	125
利益 (決済レート)	US\$	106	113	110
	EUR	114	130	130

※連結財務諸表上は「親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益」

●前回予想は2017/11/1 発表数値

2018/3期 3Q事業別業績

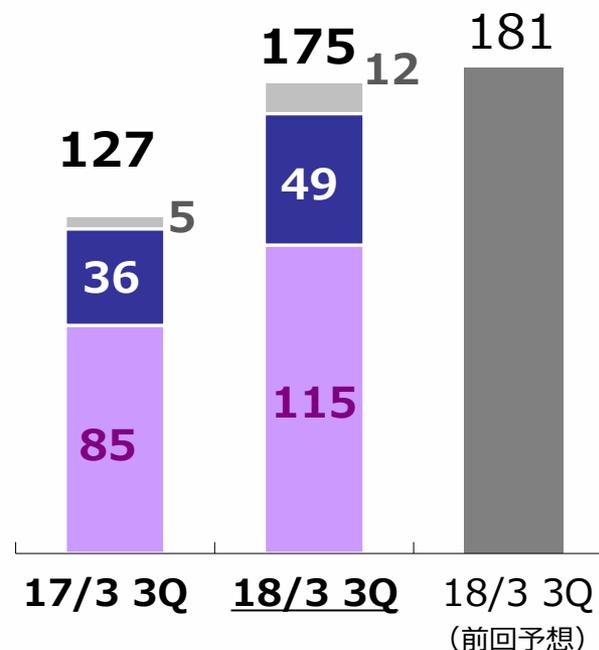
売上高



為替影響額 (億円)	
前期比較	+61 楽器 +41 音響機器 +20 その他 +1
前回予想比較	+38 楽器 +25 音響機器 +12

営業利益

(億円)



為替影響額 (億円)	
前期比較	+38 楽器 +29 音響機器 +10
前回予想比較	0 楽器 +1 音響機器 ▲1

2018/3期 1~3Q営業外損益、特別損益



(億円)	17/3 1~3Q	18/3 1~3Q
営業外損益		
金融収支	21	25
その他	▲18	▲23
計	2	1
特別損益		
固定資産処分損益	11	▲1
その他	▲55	255
計	▲44	253
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> リゾート構造改革 ▲49 その他構造改革 ▲3 減損損失 ▲4 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ヤマハ発動機株式売却益 +258 </div> </div>		
法人税他		
法人税等	82	185
法人税等調整額	▲121	▲12
非支配株主に帰属する損益	1	0
計	▲38	173

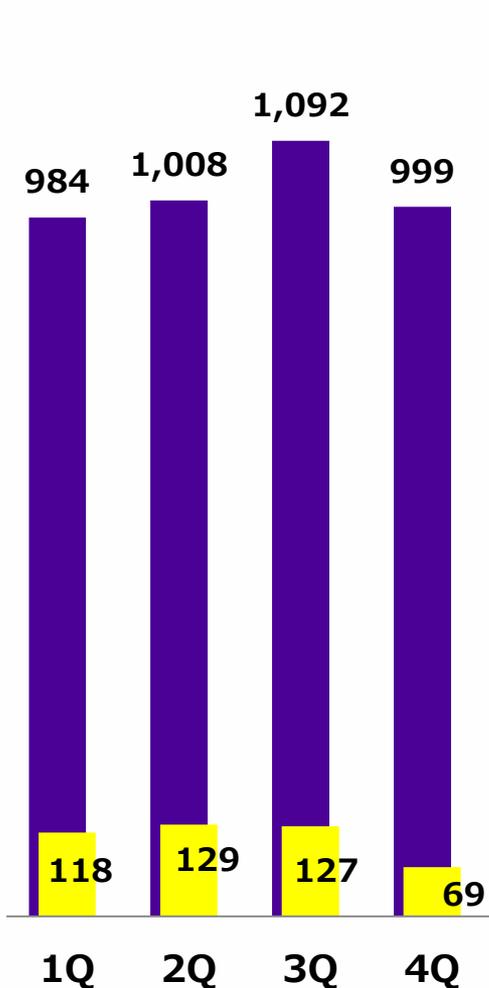
2018/3期 通期営業外損益、特別損益

(億円)	17/3 通期	18/3 通期予想	18/3 通期前回予想
営業外損益			
金融収支	35	40	39
その他	▲29	▲40	▲39
計	6	0	0
特別損益			
固定資産処分損益	35	▲2	▲2
その他	▲55	262	2
計	▲20	260	0
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 構造改革費用 ▲30 減損損失 ▲6 退職給付DC移管 ▲9 Revolabs のれん一時償却 ▲15 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> ヤマハ発動機株式売却益 +258 </div> </div>			
法人税他			
法人税等	87	206	130
法人税等調整額	▲127	▲16	▲20
非支配株主に帰属する損益	2	0	1
計	▲38	190	110

四半期別売上高／営業利益

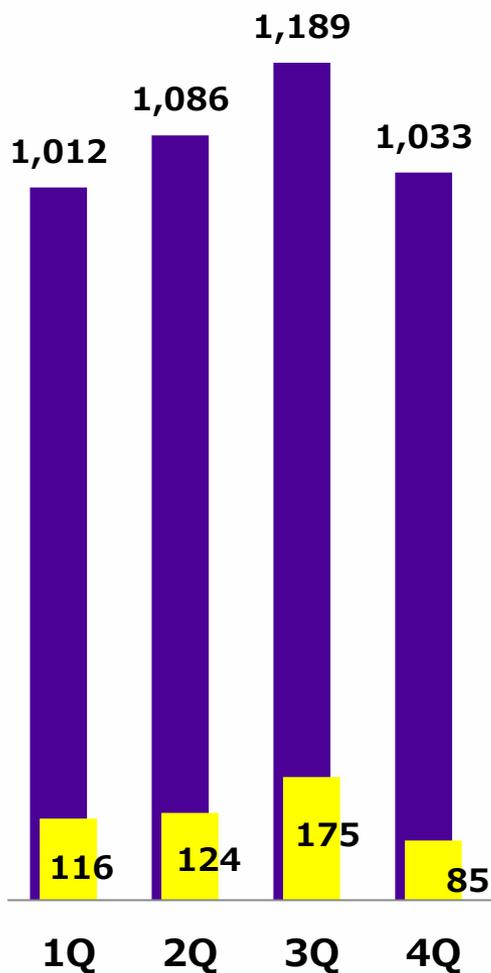


(億円)



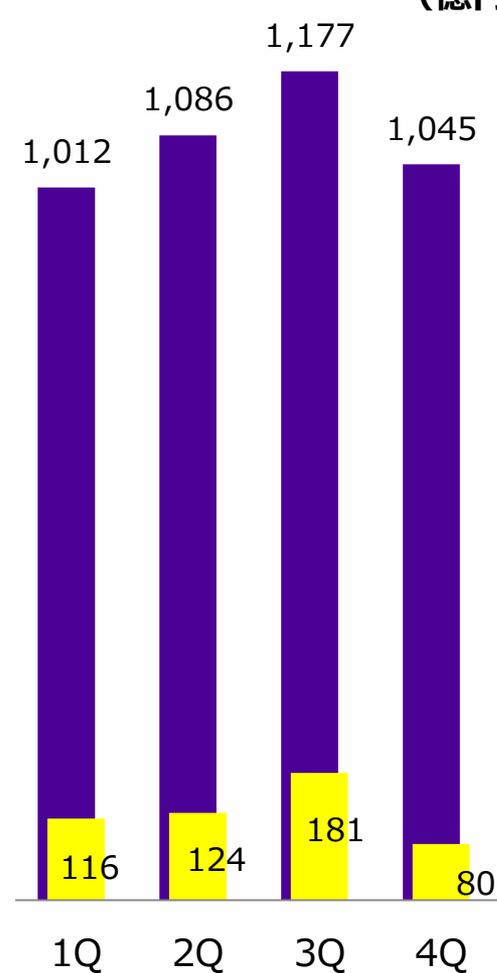
17/3

売上高 (通期)	4,082
営業利益 (通期)	443



18/3

売上高 (通期)	4,320
営業利益 (通期)	500



18/3 (前回予想)

売上高 (通期)	4,320
営業利益 (通期)	500

●前回予想は2017/11/1 発表数値

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。